

資源循環の推進

■ 方針・戦略

古河機械金属グループでは第四期中期削減計画に基づき、廃棄物等総排出量を2028年度に予想される排出量から3%削減する目標を設定し、廃棄物の発生抑制および再資源化の促進に取り組んでいます。

廃棄物の削減と資源循環に向けた活動は、設計から製造、廃棄に至るライフサイクル全般に及びます。

具体的には、設計段階での歩留り向上を考慮した製品開発、製造段階での鋼材切断時の歩留り向上、塗装効率の改善による塗料カスの削減、各種梱包の簡素化および梱包材の再利用、部品納入時の通い箱化の促進などを行っています。

当社グループにおける廃棄物の最終処分率は、ここ数年おむね5~8%前後で推移しており、2023年度の最終処分率は5.0%でした。

■ ガバナンス・体制

■ リスク管理

ガバナンス体制およびリスク管理の詳細は、環境マネジメントをご参照ください。

 [環境マネジメント\(P13\)](#)

■ 指標・目標

2023年度の目標:

- ・廃棄物等総排出量:2023年度 BAU^{※1}比▲1.5%削減

2023年度の実績:

- ・廃棄物等総排出量^{※2}:6,119t(2023年度 BAU^{※1}比▲17.4%削減)
- ・リサイクル率:70.0%
- ・原材料使用量:118,560t

※1 BAU(Business As Usual):何も対策を講じなかった場合

※2 主要生産拠点における廃棄物等総排出量の実績

■ 取り組み

プラスチックの削減

2022年4月の「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行を踏まえ、当社グループ各所におけるプラスチック使用量の削減に向けた取り組み事例の水平展開を行い、更なる削減を図っています。

外部との連携

当社グループでは、廃棄物の削減を目的として他企業との連携を進めています。取引先に対しては、通い箱や通いカバーの使用を推奨し、梱包材の削減を推進しています。